

花鳥風月・俳句

小鳥呼ぶ取り残したる蜜柑の実

小鳥来て蜜柑啄む庭の隅

高橋学

冬ばちや昭和は私の青春記

風花やふと母の声したような

年輪を重ねし狹庭実南天

年毎に少くなりし年賀状

清閑をとり戻しけり福寿草

鈴木伊都美

福引やつま先立って伸す腕

越智和人

ゆつくりと朝日に揺れて春が来る

老いてなお遅しくなり春の風

小野 弘幸

初句会笑顔満載マスクなし

1月4日グラントゴルフ初仕事

徳永 誠一

初雪や木々をナデナデハラハラヒ

小春日や花苗植し一息す

石井 トシ子

お元日金箔入りの二人酒

越智 恵美子

クラス会夫婦組あり春爛漫

初詣くじ引一等写真撮る

井上菊枝

初笑い司法試験に合格す

宝くじ当選結果寒に見る

冷えた掌に急須を包み温める

小林泰子

真っ白い山茶花咲きて神の里

夕光に翔ける数羽の冬の鳥

塗堀良子

初春の地震飛行機幸祈る

青い春キユーイ畑に広がって

落合 敦